

(様式2)

2019年度 教育活動活性化提案事業 実施結果報告書  
( 最終報告 )

令和2年3月31日

福岡女子大学学長 殿

申請者

所属名  
職名  
氏名

戦略企画センター  
主任  
山本 凌



事業名 (テーマ)	「学職協働」によるより良い学内環境の実現に向けた取組		
事業実施者及び 事業分担者		大学院生及び 学外協力者等	
活動内容及び成果(必要に応じ資料、写真等を添付すること) ※この欄の記載は、大学ホームページ等にそのまま掲載する予定です。 (活動内容)  今回措置された予算を活用し、オープンキャンパスなどで屋外に使用するのぼりを刷新することとした。  本事業は、再整備されたキャンパスを有効活用し、より良い学内環境を目指すという計画であった。具体的には、3月に開催される高校生向けの「キャンパス見学・相談会」を目標に、「外部の方が来て好印象を持つようにする」ことを目指す構想を立てた。 「キャンパス見学・相談会」を担当するアドミッションセンターと、学生で構成される「広報サポーター」に協力を仰ぎ、どのように改善すべきかを検討し、実施する予定であった。  しかし、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により「キャンパス見学・相談会」が中止となったことなどを受け、学生を含めた改善検討は行えず、アドミッションセンターのスタッフと連携し、現時点で可能な対応を取ることとした。 結果として、オープンキャンパス等のイベントで屋外に掲げるのぼりを刷新することとした。  (成果)  今回刷新したのぼりは、オープンキャンパスなど外部の方が来場する際に活用される予定である。これまでは旧シンボルマークがあしらわれたのぼりを長らく使用していたが、現在のシンボルマークのものになるとともに、スクールカラーである深紺をベースとした。 外部の方が来学時に最初に目にするため、大学の雰囲気や印象づけるのぼりを新しくしたことにより、ブランディングの観点から改善を図った。  当初想定していた「学生の意見を反映した事業展開」が未達成に終わったことは今後の課題である。			



事業費の交付決定額(円)

133,000 円

事業費の決算額(円)(領収書等を添付すること)

99,000 円

事業費の決算額の内訳(円)

費目	品名、仕様など	金額
消耗品費		
印刷製本費	オリジナルのぼり旗 スリムのぼり 14本×2種 テトロンポンジ 450mm×1800mm	67,760
旅費交通費		
通信運搬費		
備品費		
その他	(業務委託費) デザイン製作費(3案)	31,240
	合 計	99,000

※費目等は適宜追加・削除すること



公立大学法人

福岡女子

FUKUOKA WOMEN'S UNIVERSITY

公立大学法人

福岡女子

FUKUOKA WOMEN'S UNIVERSITY









2020年3月17日

# 納品書

公立大学法人福岡女子大学 御中

〒813-8529  
福岡市東区香住ヶ丘1丁目1-1

TEL: 092-692-3100  
FAX: 092-661-2415

株式会社千年市場  
〒810-0022

福岡市中央区薬院4-3-5セレス薬院ビル3F

TEL: 092-533-8733  
FAX: 092-534-7789  
営業企画部 山口純子

下記の通り納品させていただきました。

単位:円

項目	品名	数量	単位	単価	金額
印刷	オリジナルのぼり旗 スリムのぼり 14本×2種	28	枚	2,200	61,600
	テトロンボンジ 450mm×1800mm				
制作	デザイン(3案提出)	2	式		28,400
合計					90,000
消費税(10%)					9,000
税込み金額					99,000



こちらにも記入をお願いします。

★提出いただきました報告書をホームページで公表するにあたり、活動内容及びその成果を300～500字程度にまとめていただきますよう、お願いします。

★おまとめいただきましたものをホームページのトップに掲載し、そこからリンクで該当の報告書を見ることができるようにします。

今回措置された予算を活用し、オープンキャンパスなどで屋外に使用するのぼりを刷新することとした。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により「キャンパス見学・相談会」が中止となったことを受け、広報サポーター(学生)の協力を得て提案を実現するという当初計画から変更せざるを得なくなった。そこで、アドミッションセンターのスタッフと連携し、現時点で可能な対応を取ることにした。  
新たに制作したのぼりは、オープンキャンパスなど外部の方が来場する際に活用される予定である。これまでは旧シンボルマークがあしらわれたのぼりを長らく使用していたが、現在のシンボルマークのものになるとともに、スクールカラーである深緋をベースとした。  
外部の方が来学時に最初に目にするため、大学の雰囲気を印象づけるのぼりを新しくしたことにより、ブランディングの観点から改善を図った。